

東春近小学校校歌

- 一 それ ^{ひんがし}東の ^{はるちか}春近に
 ^{のぞみ}希望の ^{ひかり}光 ^{かがや}輝けば
あした ^{はえ}朝の ^{えいごう}栄の ^{まなびや}永劫に
 我が ^{まなびや}学舎を 包むかな
- 二 あま 天そそりたつ ^{こまね}駒が ^ね峰や
 ^み三峰 ^{てんりゅう}天竜の ^{よどみ}淀みなく
きよ 清く ^{けだか}崇高き ^{こころ}心もて
 ^{いさ}勇む ^{けんじ}健児の ^{さけ}叫び ^き聞け
- 三 ^{さんが}山河 ^{ひい}秀ずる 我が ^わ郷 ^{きょう}は
 ^{てんち}天地の ^{せいき}正気 ^み充ち ^み満ちて
こゝ 此処に ^{われら}吾等の ^{ちから}力 ^わ湧き
 こゝ 此処に ^{われら}吾等の ^ち血 ^{おど}は躍る
- 四 ああ ^{とし}嗚呼 ^い長えに ^い生きんとて
 ^{おお}雄々 ^{あゆ}しき ^{たゆみ}歩 ^{おど}才 ^{おど}堯みなく
よろこ 喜び ^{つど}集う ^{ろっびやく}六百の
 ^{けんじ}健児 ^{ひとみ}瞳に ^{ひかり}光りあり

○作詞者、作曲者の紹介

(1) 作詞 飯島源九郎

明治 15 年西春近沢渡に生まれ、伊那小学校に奉職、大正 2 年より昭和 4 年まで東春近小学校に在職された。和歌や歴史を好み、たくさんの歌をつくられた。

(2) 作曲 清水勝蔵

明治 25 年伊那町に生まれ、東京音楽学校に学び、大正 7 年から教職に就いたが、体調を崩し昭和 7 年に 40 歳の若さで亡くなられた。本校の他には弥生ヶ丘高等学校、西箕輪小学校などの校歌も作曲している。

○校歌制作にまつわるエピソード

大正 7 年頃より本校は運動において、郡下に誇る成績を上げていた。そういう時にぜひ校歌をほしいという気風が高まり、全職員に歌詞の募集を行った。そして大正 7 年 6 月 9 日の職員会で、飯島源五郎先生の作られた詩を批評し合って精選し、伊那高等女学校教諭清水勝蔵先生に作曲を依頼した。7 月 9 日に校歌として制定され、以降、行事のある度に歌われ、全校ダンスに振り付けられたり運動選手団の送迎には楽隊によって演奏されたりした。制定以来、親から子へと校歌は歌い継がれ、今でも東春近地区の方々は声をそろえて歌うことができる。